

## 市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	全周性食道病変に対する計画的 2 分割 ESD の有用性と課題
当院の研究責任者	所 属：消化器肝臓病センター・消化器内科 責任者：北村陽子
他の研究機関および各施設の研究責任者	
本研究の目的	<p>はじめに 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の普及により食道 ESD 偶発症として穿孔は少なく、胃と異なり後出血は稀である。残された課題は術後狭窄といえる。食道全周 ESD を行うと術後狭窄は必発であり、ステロイド局注や内服による狭窄予防が必須であるが、予防法を講じても狭窄を来たすことが多い。ステロイド使用による重篤な感染症の報告もあるうえに、頻回が拡張術は患者の負担も多い。当院では近年全周 ESD が必要な症例において、計画的 2 分割 ESD を施行しており、その成績を報告する。</p> <p>目的 全周性食道病変に対する 1 期的 ESD と計画的 2 分割 ESD の治療成績を比較し、計画的 2 分割 ESD の有効性と課題を評価すること</p>
調査データの該当期間	2012 年 4 月から 2024 年 7 月
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	当院で ESD 行った全周性食道病変の方の、内視鏡画像・病理組織画像や臨床データを後方視的に検討する。
試料・情報の 他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	匿名化し個人を同定できないように行う。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先	TEL : 0742-24-1251 担当者 : 消化器肝臓病センター・消化器内科 北村陽子
備考	